

# 1 国 語

## I 本県が目指す国語科の授業

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して資質・能力を育成する国語科の学習

## II 教材研究の充実

### 国語科における教材研究のポイントとその具体

中学校・2年「どうする結論 ～互いの立場を尊重して討論し、自分の考えを深めよう～」の例

学習指導要領に示された目標及び内容を確認する

#### 子供の視点から

##### 子供の実態把握

これまでの子供の生活経験・学習経験や、身に付けている資質・能力、課題等を確認するなどして、子供の実態を把握する。

##### 学習過程に着目した指導事項の焦点化

「子供の实態把握」を踏まえて、単元で育成を目指す資質・能力（指導事項）を、「学習過程」に着目しながら焦点化し、各学年の同じ学習過程に設定された指導事項との比較から、単元末の子供の姿を具体的にイメージする。

##### 例 学習過程に着目した指導事項の焦点化 (A話しこと・聞くこと)

| 学習過程   |            | (中) 2 学年  |
|--------|------------|---|
| 話し合うこと | 話題の設定      | ア 目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、異なる立場や考えを想定しながら集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討すること。 |
|        | 情報の収集      |   |
|        | 内容の検討      |   |
|        | 話合いの進め方の検討 | オ 互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめること。                          |
|        | 考えの形成      |   |
| 共有     |            |   |

(「中学校学習指導要領解説国語編」P173 より)

#### 教材の視点から

##### 素材の研究

素材の特徴を捉え、どのように単元を展開するか、指導事項を踏まえて検討する。

##### 素材の教材化

国語科においては、言葉を通じた理解や表現及びそこで用いられる言葉そのものを学習対象としているため、素材をどのように用いて、どのような言葉による見方・考え方を働かせて資質・能力を育成するか明らかにしながら教材化する。

##### 例 素材の教材化

- ・指導事項との関連を確認し、扱う内容や討論形式の特徴を踏まえ、「賛否や是非が分かれるか」、「複数の根拠を挙げられるか」等に注目して討論のテーマを考えることができるようにする。
- ・統計資料や報道記事、自身の体験、異なる立場の考え等、根拠の客観性や信頼性に注目して吟味し、自分の立場や考えを支える根拠としての適切さを考えることができるようにする。

#### 学習の過程の視点から

##### 言語活動の設定

学習指導要領の言語活動例等を参考に、相手、目的、場面や状況、方法等を明確にした言語活動を設定し、指導事項を具現した単元末の子供の姿をイメージする。

##### 主体的・対話的で深い学び

- ▶ 単元の目標や言語活動を子供と共有し、子供が単元の見通しをもてるようにする。(主体的な学び)
- ▶ 互いの考えを伝え合い、自分の考えを深めたり、集団としての考えをまとめたりする場面を設ける。(対話的な学び)
- ▶ 言葉による見方・考え方を働かせ、言葉で理解したり表現したりしながら自分の思いや考えを広げ、深める学習過程を設定する。(深い学び)

##### 例 言語活動の設定

|       |                                   |
|-------|-----------------------------------|
| 言語活動例 | イ それぞれの立場から考えを伝えるなどして、議論や討論をする活動。 |
|-------|-----------------------------------|

(「中学校学習指導要領解説国語編」P173 より)

##### 例 主体的・対話的で深い学び

- ・単元名に「互いの立場を尊重して」を入れるなど、単元の目標を生徒と共有した上で活動に移ることで、生徒が学習の見通しをもったり、学びを自覚したりすることができるようにする。(主体的な学び)
- ・考えの根拠となる情報を多様な方法で集めたり、自分の考えを創り上げたりする時間を設定し、それを踏まえて討論するようにすることで、自分の考えを広げたり深めたりすることができるようにする。(対話的な学び)

Ⅲ 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善例

【学年】 中学校 第2学年

【単元名】 どうする結論 ～互いの立場を尊重して討論し、自分の考えを深めよう～（全7時間）

【単元の評価規準】 内容 [知識及び技能] (2)ア [思考力、判断力、表現力等] A(1)ア, オ

| 知識・技能                             | 思考・判断・表現  | 主体的に学習に取り組む態度                                    |
|-----------------------------------|---|--|
| 意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。 | ①「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、異なる立場や考えを想定しながら集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。<br>②「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめている。 | 粘り強く、互いの立場や考えを想定しながら自分の考えをまとめ、見通しをもって討論しようとしている。 |

【単元の言語活動と学習指導要領との関連】 [思考力、判断力、表現力等] A(2)イ

【主な学習活動と評価計画】 (☆…「評定に用いる評価」, ♡…「学習改善につなげる評価」)

| 時   | ○学習活動  生徒の意識 (  端末とクラウドの活用例)  | 評価の観点 |    |   | 評価方法   | 授業改善の視点<br>取組の具体例 |
|---|---|-------|----|---|--|-------------------|
|   |   | 知     | 思  | 態 |  |                   |
| 1   | ○仮のテーマで試しの討論を行い、現時点の話合いの課題を把握する。<br>自分の主張を繰り返すだけになってしまったな。  | ♡     | ♡  | ♡ | 現時点の課題を基に言語活動を設定する<br>試しの討論の振り返りを基に、目的や場面、状況を明確にした言語活動を設定します。  |                   |
|   | 単元の言語活動：どうする結論 ～互いの立場を尊重して討論し、自分の考えを深めよう～<br>【学習問題】 討論を通して考えが深まるようなテーマを決めよう。  |       |    |   |  |                   |
| 2<br>3<br>4<br>5<br>6                         | ○討論のテーマを決める。<br>賛否の両方からの意見で考えが深まるように、参加者の考えが半々くらいに分かれるテーマがいい。<br>体験や統計資料、報道記事等から情報を集めやすいテーマがいい。<br>○テーマに対する自分の考えを書く。  | ☆     | ♡  | ♡ | ♡発言やワークシートの記述から、異なる立場を想定して討論のテーマを決め出せているか見取り、指導する。<br>単元導入時の自分の考えを記録する<br>単元末の自分の考えと比較し、学びを自覚できるよう、生徒の考えを残します。   |                   |
|   | 【学習問題】 説得力のある立論にすることを、どんな根拠を示せばよいだろうか。(テーマ：救急車は有料化するべきか)  |       |    |   |  |                   |
|   | ○自分の立場や反対の立場を支える根拠となる情報を、インターネット、書籍、アンケート等、多様な方法で集める。<br>集めた情報を、同じ立場の友とクラウドで共有する。<br>○情報を様々な立場から捉え、根拠として信頼性の高い情報を決め出す。<br>複数の情報を比べて結論の根拠にふさわしいものを選んだり、情報の出典を示したりすることで、立論に説得力が出そうだな。 | ☆     | ☆① | ☆ | ☆クラウド上の情報やワークシートの記述から、結論を支える根拠として適切な情報を集められているか評価する。<br>クラウド上で情報を共有しながら検討する<br>集めた情報を整理・分析しながら、根拠としての客観性や信頼性を検討する場面を設けます。<br>☆対話やワークシートの記述から、異なる立場を想定し、情報の出典等を基に、結論を支える理由としての客観性や信頼性について検討しているか評価する。 |                   |
| 【学習問題】 テーマの結論に向かって、反対の立場の考えも踏まえて、自分の考えをまとめよう。 |   |       |    |   |  |                   |
| 5   | ○討論を行い、テーマの結論を導くための自分の考えをまとめる。<br>Web会議システムを活用し、他者(他学年、他学年、他校等)と討論する。<br>同じ立場でも、私とは違う根拠をもとにした考えや、異なる立場の考えを聞いて、有料化すべきだという結論は変わらないけれど、有料化によって生まれる課題について考える必要性に気付いた。                   | ☆     | ☆② | ☆ | ☆討論の様子やワークシートの記述から、異なる立場や考えが出された背景を踏まえて討論し、結論に向かって自分の考えをまとめようとしているか評価する。<br>☆討論の様子やワークシートの記述から、互いの立場や考えについて、共通点や相違点に着目しながら話し合い、自分の考えをまとめているか評価する。  |                   |
|   | ○単元を振り返り、まとめる。<br>様々な側面から見返したり、別の立場から捉え直したりすることで、テーマについての自分の考えが広がったり深まったりした。多様な立場や考えを大切にしながら、自分の考えを深めたい。  | ♡     | ♡  | ♡ | ♡ワークシートの記述から、学びを自覚し、今後の生活に生かせるよう指導する。<br>学びや変容を視点に単元を振り返る<br>学習した内容をこれからの学習に生かせるよう、振り返りの時間を設けます。   |                   |
| 7   |   |       |    |   |  |                   |